

平成 21 年 5 月 15 日

各 位

会社名 ヤマト・インダストリー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岩本 英親
 (JASDAQ・コード 7886)
 問合せ先 責任者役職名 取締役経営企画室長
 氏 名 石川 恵一
 (TEL 03-3834-3111)

海外拠点からの事業撤退及びこれに伴う特別損失の発生
 並びに平成 21 年 3 月期(連結・個別)業績予想の修正・
 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、これまでの連結・個別業績の連続赤字を受け、また本年 3 月の月末ならびに月中平均株式上場時価総額が 3 億円未満となったことを受け(ただし、本年 4 月には月末・月中平均株式上場時価総額ともに 3 億円以上を回復)、抜本的な全社改革を実施する一環として、この度海外 2 拠点(連結対象子会社 3 社)の事業撤退(資産売却等を含む)を行うことを決定いたしました。

これに伴い、当社において特別損失が発生する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績動向等をも踏まえ、平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想につきまして、平成 21 年 2 月 13 日付け当社「為替差損の発生及び平成 21 年 3 月期業績予想の修正並びに役員報酬等の減額に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想並びに平成 20 年 5 月 23 日付け当社「平成 20 年 3 月期決算短信」にて発表いたしました配当予想につきまして下記のとおり修正いたします。

記

1. 閉鎖する 2 拠点(連結対象 3 子会社)の概要

【サイアムヤマトインダストリー株式会社】

- (1) 商号 サイアムヤマトインダストリー カンパニーリミテッド
- (2) 代表者 池田 巖
- (3) 所在地 タイ王国 アユタヤ市
- (4) 設立年月日 1989 年 5 月
- (5) 事業内容 合成樹脂成形品の製造・販売
- (6) 決算期 12 月 31 日
- (7) 資本金 300,000,000 タイバーツ
- (8) 当社出資比率 90.3%
- (9) 最近 3 ヶ年の売上高・経常利益

(単位:千タイバーツ)

	平成 18 年 12 月期	平成 19 年 12 月期	平成 20 年 12 月期
売上高	680,263	786,526	659,917
経常利益	△26,387	△60,132	△46,769

【上海大和塑料有限公司】

- (1) 商号 上海亜馬特塑膠有限公司
- (2) 代表者 武井 康介

- (3)所在地 中国上海市青浦工業園区
(4)設立年月日 2004年2月
(5)事業内容 合成樹脂成形品の製造・販売(成形・組立会社)
(6)決算期 12月31日
(7)資本金 2,100,000US\$
(8)当社出資比率 65%(残り35%は当社100%子会社香港大和工貿有限公司が出資)
(9)最近3ヶ年の売上高・経常利益

(単位:千人民元)

	平成18年12月期	平成19年12月期	平成20年12月期
売上高	19,951	19,703	28,188
経常利益	△1,903	△2,367	△2,216

【上海大和模具有限公司】

- (1)商号 上海雅瑪特模具有限公司
(2)代表者 武井 康介
(3)所在地 中国上海市青浦工業園区
(4)設立年月日 2004年2月
(5)事業内容 合成樹脂成形品製造金型の製作
(6)決算期 12月31日
(7)資本金 2,100,000US\$
(8)当社出資比率 65%(残り35%は当社100%子会社香港大和工貿有限公司が出資)
(9)最近3ヶ年の売上高・経常利益

(単位:千人民元)

	平成18年12月期	平成19年12月期	平成20年12月期
売上高	287	562	1,826
経常利益	△1,019	△2,136	△4,676

2. 事業撤退する理由

主要取引先の生産拠点の海外移管に伴い、当社も同地域において受注生産に対応すべく尽力してまいりましたが、競合他社との競争激化や原価高騰で赤字脱却からの解消ができず、そこにさらに昨年後半からの世界的な不況の影響も加わりこれ以上の操業の継続は、企業価値をさらに低下させるものとの判断から、今般、海外2拠点(連結対象子会社3社)の事業撤退すなわち資産売却等を決定したものであります。現在、売却候補先との間で具体的な条件面等の詰めの交渉を進めておりますが、決定次第改めてお知らせいたします。これを受けまして、想定される価格をもとに当社損益に与える影響につきまして計算した結果、特別損失が発生する見込みとなりましたので平成21年3月期決算にて計上するものであります。

3. 特別損失の発生及びその内容

当社連結子会社であるサイアムヤマトインダストリー株式会社は、タイ国内で日系企業向けに合成樹脂成形品の製造販売を行っておりますが、業績の低迷により工場の操業を停止し、資産売却ならびに事業譲渡する方向で候補先と折衝を開始しております。先方からの提示予定価格をもとに算定した結果、当社の保有する同社株式について債務超過減損処理が必要となり評価損3億65百万円を特別損失として計上いたします。

また、当社連結子会社である上海大和塑料有限公司ならびに上海大和模具有限公司におきましても同様に、業績の低迷により工場の操業を停止し、資産売却ならびに事業譲渡する方向で候補先と折衝を開始しております。先方からの提示予定価格をもとに算定した結果、当社の保有する同社株式についても債務超過減損処理が必要となりそれぞれ評価損1億48百万円を特別損失として計上いたします。以上3社合計で、6億61百万円の関係会社株式評価損を当社の特別損失として計上いたします。

さらに、今回の海外拠点の事業撤退に関連して、関係会社事業損失引当金として1億87百万円、貸倒引当金として1億89百万円も合わせて繰入いたしますので、総額では当社において10億39百万円の特別損失の計上となるものであります。

なお、連結ベースでも今回の海外拠点の事業撤退により、減損損失として8億5百万円、子会社清算損で46百万円、たな卸資産評価損として20百万円、以上合計で8億72百万円の特別損失を計上いたします。

4. 今後の見通し

上記の通り、本日当社は、資産売却等を伴う海外拠点からの事業撤退について、決定したものの、当該事業撤退に関する具体的な方法等については、まだ、決定しておりませんので、決定次第改めて報告いたします。

5. 平成21年3月期通期業績予想値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	20,300	△130	△300	△420
今回修正(B)	20,205	△174	△337	△1,214
増減額(B-A)	△95	△44	△37	△794
増減率	△0.5%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	23,329	14	△73	△283

(2) 修正理由

売上高につきましては、第4四半期の減産の影響がさらに顕著になった結果、前回予想と比較しまして1億円弱の減収となる見込みです。

利益につきましても、売上高減少の影響を受け、営業利益、経常利益とも前回予想よりも減益にて着地する見込みですが、当期純損失につきましては、上記の海外2拠点の事業閉鎖に伴う減損損失を大幅に計上する結果、7億94百万円悪化し12億14百万円となる見込みです。

(3) 個別業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	10,300	△160	△50	20
今回修正(B)	10,305	△191	△66	△988
増減額(B-A)	5	△31	△16	△1,008
増減率	0%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	11,225	△142	△70	△804

(4) 修正理由

売上高につきましては、第4四半期もほぼ見込み通りに推移した結果、前回予想比5百万円増加の10億5百万円となる見込みです。

利益につきましては、全社を挙げ原価低減、経費圧縮に注力いたしましたが結果及ばず、営業損失は前回予想よりも拡大し、1億91百万円、経常損失につきましても16百万円悪化し66百万円となる見込みです。また、当期純損失につきましても、上記の特別損失が発生したこと等も加わり10億8百万円悪化し9億88百万円となる見込みです。

6. 配当予想修正

(1) 修正理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。
しかしながら、大幅な当期純損失を計上する見込みであること等を考慮し、誠に遺憾ながら平成
21年3月期の1株当たり期末配当を5円00銭から0円00銭に修正いたします。

(2) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
前回発表予想 (平成20年5月23日発表)		5円00銭	5円00銭
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当期実績			
前期(平成20年3月期)実績		3円00銭	3円00銭

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日時点において入手可能な資料に基づいて作成しており、実際の業績は予想と異なることがあります。

以 上